

日本学術会議地球惑星科学委員会
地球・人間圏分科会（第26期・第2回）
議事要旨

日時： 令和6年6月18日（火）10：00～12：00

会場： オンライン会議（ZOOM）

出席者 25名： 沖 大幹、小口 高、佐竹健治、矢野桂司、飯島 慈裕、井田仁康、伊藤香織、植松光夫、臼田裕一郎、奥村晃史、片岡香子、川東正幸、齊藤宏明、鈴木康弘、谷口 真人、張 勁、長谷部徳子、平田 直、見延庄士郎、谷田貝亜紀代、山田育穂、山野博哉、山本佳世子、由井義通、若林芳樹（以上、名簿順、敬称略）

欠席者 4名： 石川 徹、小野裕一、久保純子、齋藤文紀（以上、名簿順、敬称略）

議事概要

1. 話題提供・議論（片岡委員、山野委員）

一人15分で発表

片岡香子委員「フィールド火山堆積学－火口から海底まで」

山野博哉委員「サンゴ礁の地形と保全から－Nature-based Solutions へ」

2. 委員の追加について

小口委員長より説明

現在29名、35名まで許されるので、多様性を考慮して3名を追加する提案。

- ・橋本禪（連携会員、社会水文学小委員会委員、東京大学）
- ・吉田丈人（連携会員、社会水文学小委員会委員、東京大学）
- ・木村園子ドロテア（連携会員、ライプニッツ農業景観研究センター土地利用およびガバナンス領域・領域長／フンボルト大学ベルリン生命科学学部農学園芸科教授、東京農工大学客員教授）

幹事会で審議のうえ、承認へ

3. シンポジウムについて

①Nature-based Solutions：自然に根差した社会問題の解決に向けて（山野委員より説明）

主催：日本学術会議地球・人間圏分科会

共催：SIP グリーンインフラ課題、推進費 S21, 推進費 2－2402（山野委員関係）話題提

供候補者をリストアップ、開催日は未定

②阪神淡路大震災 30 年ーその後の日本社会をいかに変えたかー（鈴木委員より説明）

日程：2025 年 1 月

主催：日本学術会議地球・人間圏分科会

共催：日本活断層学会、日本地理学会、土木学会、建築学会、自然災害学会、災害情報学会、防災学術連携体など

会場と日程については防災学術連携体（米田雅子先生）との調整後に予約

③社会水文関係の行事について（沖委員より説明）

2025 年 7 月 19－21 日東京大学にて第 2 回国際社会水文学会

沖委員から提案と説明

学会からの後援あり

当分科会の後援について提案があり、審議して了承

分科会関連で、会議前（後）でシンポジウムを行う可能性を検討

4. その他

小口委員長：シンポジウムを 3 回程度開催し、一部の内容について意思の表出としてとりまとめることを目指すこととした。

次回は 10 月を予定